スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【新潟県村上市】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	新潟県村上市
担当課名	学校教育課
電話番号	0254-72-6882

1．自治体の基本情報

基本情報

人口	55,490人	部活動数	41部活
公立中学校数	7校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	合同会議、コーディネーター会議
公立中学校生徒数	990人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済み（令和４年度）

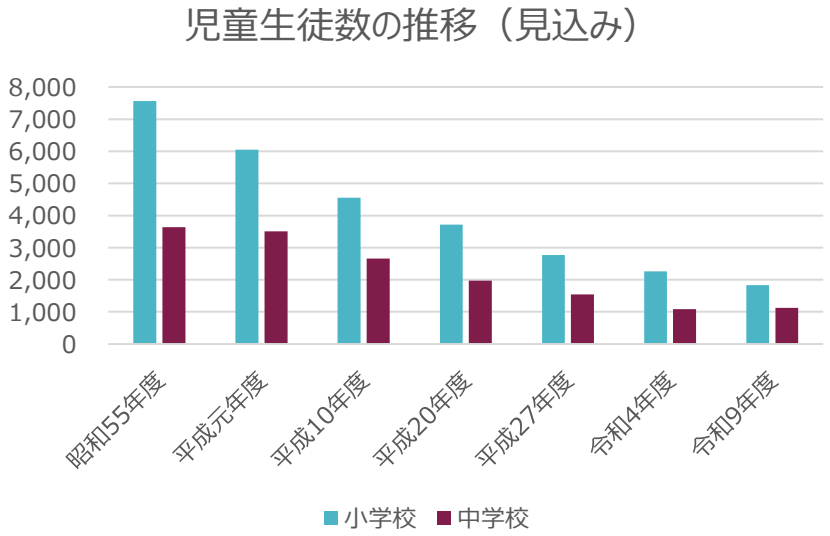
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

村上市は平成20年4月1日1市2町2村が合併し誕生しました。平成20年4月1日70,019人だった人口も、令和5年4月1日には55,490人まで減少、これに伴い児童生徒数も減少しております。

村上市内には7つの中学校がありますが、生徒数の減少に伴いチーム編成が困難な部活動も生じてきており、複数校の生徒による合同部活動を始めた学校もあります。しかしながら、公共交通機関による学校間や会場までの移動は困難な状況にあります。

今後円滑な地域移行を図るため、指導者不足の解消、移動手段の確保、地域クラブ活動の拠点化等の課題解消に努める必要があります。

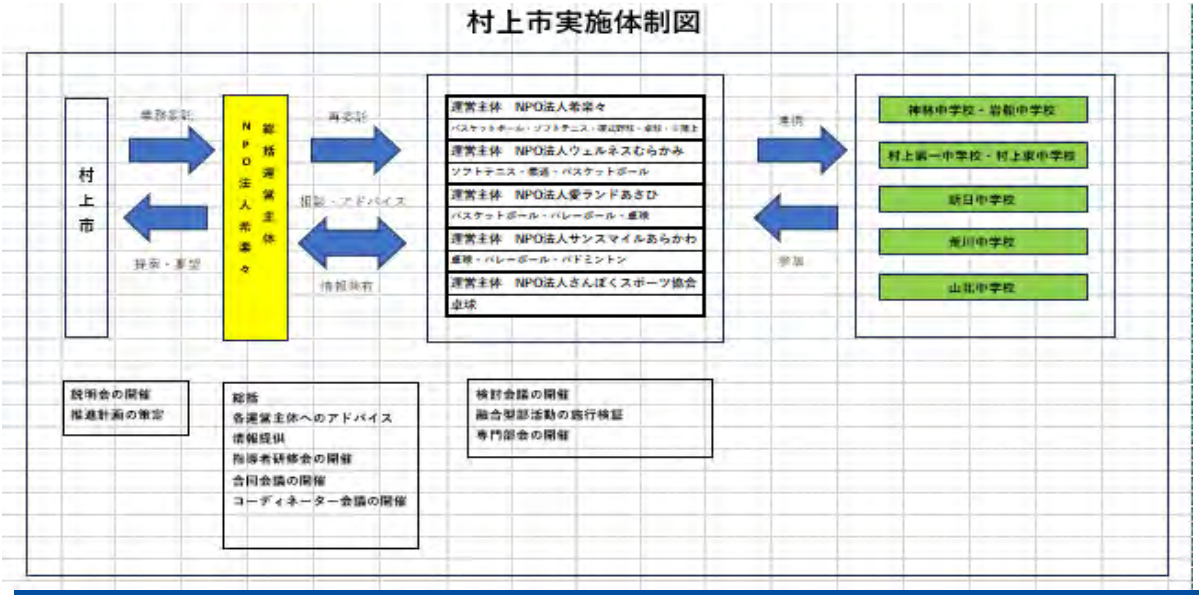
また、指導者の質の保障のための指導者育成プログラムの継続、地域移行後の学校を会場とするクラブ活動の管理方法等の検討も課題となってくると考えられます。



2．実証内容と成果

運営体制･役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）　※イメージ図



▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会**（学校教育課）
  地域移行の担当部署は、学校教育課が担っていますが、今後の地域移行を見据え、生涯学習課と情報を共有しています。

- **首長部局**（財政課）
  今後の財政支援を見据え、財政課と情報共有しています。

年間の事業スケジュール

月	事業名	備　考
4月	「融合型部活動」始動	
5月	第1回コーディネーター会議の開催	
5～6月	「指導者育成プログラム研修会」の開催	6回
7月	各地区融合型部活動運営協議会の開催	
9月	第2回コーディネーター会議の開催	
9月	第1回合同会議の開催	
10月	「コーチング研修会」の開催	
11月	第3回コーディネーター会議の開催	
2月	第4回コーディネーター会議の開催	
2月	第2回合同会議	種目別ワークショップ
随時	各種目専門部会、保護者説明会　他	

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

拠点校数	７校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	男子バスケットボール,シフトテニス,軟式野球、卓球、柔道、女子バレーボール、陸上
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	１４部活		

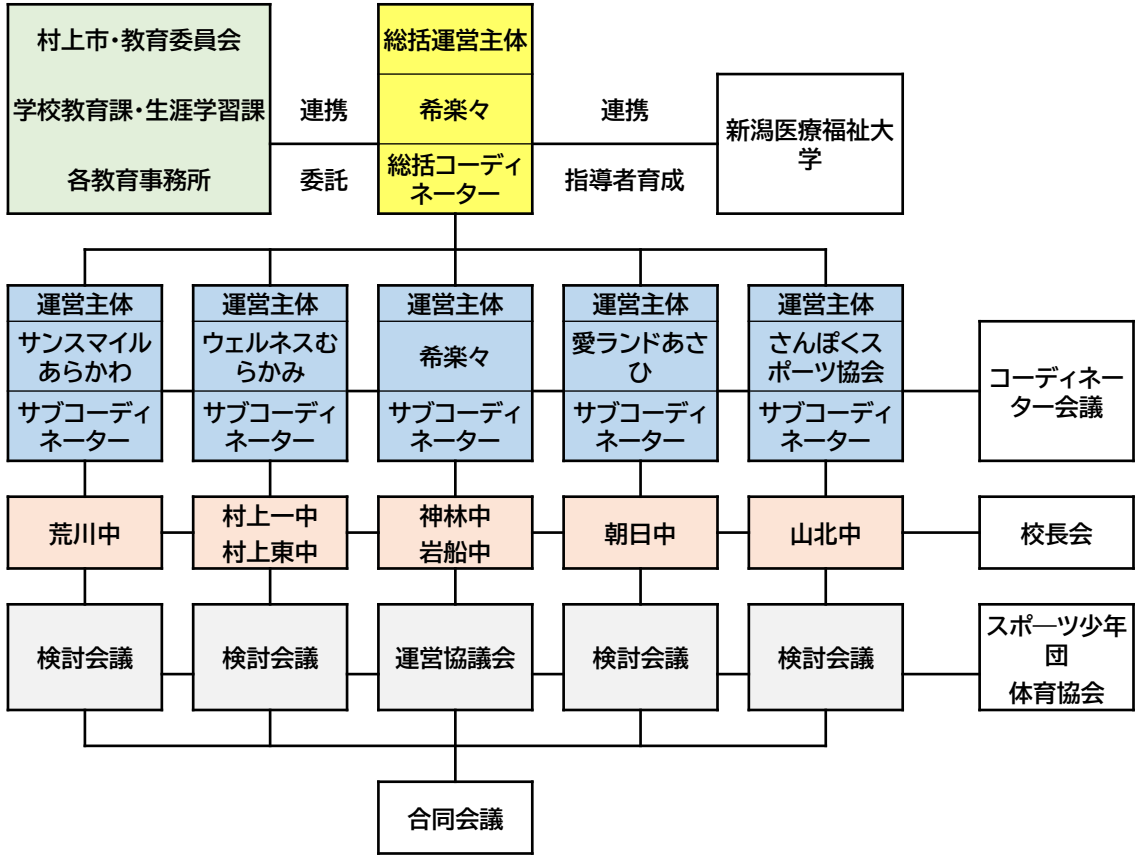
主な取組例

▼活動概要

地区	融合型名	始動年度	参加（登録）者数	参加学校名	活動日・時間	場　所	参加費	指導者数	中体連大会
神林中・岩船中	バスケットボール【Hangout】	R1	29名	神林・村上東 岩船 ※関・猿橋	月曜日19:00～ 水曜日19:00～ 土曜日13:00～	神林総合体育館 神林中学校	3,000円/月 500円/回	9名 ※兼職兼業2名含	参加
	ソフトテニス【KSTC】	R2	16名	神林 岩船	月曜日19:00～ 火曜日16:30～ 木曜日19:00～ 土曜日13:00～	神林総合体育館 岩船中学校 平林体育館 神林中学校　他	2,000円/月 200円/回	7名 ※兼職兼業2名含	参加
	軟式野球【NEXUS】	R3	22名	神林 村上東	月曜日19:00～ 金曜日19:00～ 土曜日 8:30～	神林中学校グラウンド 神林中学校 多目的グラウンド 平林体育館	2,000円/月 200円/回	4名 ※兼職兼業1名含	参加
	卓球【神林TTC】	R5	14名	神林	土曜日 8:30～	多目的グラウンド	200円/回	4名※兼職兼業1名含	
村上第一中・東中	ソフトテニス【エイムハイ村上】	R4	26名	村上第一 村上東	土曜日9:00～ ※雨天時17:00～	村上東中学校 テニスコート ※村上体育館	500円/月 6,000円/年	6名	参加
	柔道【村上市柔道教室】	R5	14名	村上第一 村上東	土曜日９:00～	村上東中学校	500円/月 6,000円/年	5名	
朝日中	男子 バスケットボール	R５	20名	朝日	月曜日16:00～ 火曜日16:00～ 木曜日19:00～ 金曜日16:00～ 土曜日 8:30～	朝日総合体育館 朝日中学校	100円/木曜	4名	
	女子 バレーボール	R５	4名	朝日	月曜日16:00～ 火曜日19:00～ 金曜日16:00～ 土曜日 8:30～	朝日総合体育館 朝日中学校	調整中	3名 ※クラブ職員2名含	
荒川中	卓球	R5	17名	荒川	火曜日16:00～ 木曜日16:00～ 金曜日16:00～ 土曜日 9:00～	荒川総合体育館	2,000円/月	2名 ※クラブ職員	
	バレーボール	R5	8名	荒川	木曜日16:00～ 土曜日 9:00～	荒川総合体育館	1,000円/月	2名 ※クラブ職員	
山北中	卓球	R5	11名	山北	月曜日19:00～ 火曜日16:15～ 木曜日19:00～ 土曜日 9:00～	山北総合体育館 山北中学校	1,000円/月	6名	

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）

※イメージ図



2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

（１）合同会議の開催
市全体の情報提供・共有を目的として、国や県、市の方向性を説明するとともに、市全体の取組、各地区の取組について報告
（２）コーディネーター会議の開催
運営団体としての合意形成、各地区の情報共有、課題の抽出と解決策の検討

取組の成果

（１）各地区で各融合型部活動の取組を進め、参加状況は右記のとおり。
種目数や活動日・時間、参加費等　進行状況に応じて設定しているため統一化は図られていないが、まず１歩動くことができた。
（２）コーディネーター会議で定期的に取組状況を共有しつつ、課題について話し合うことができた。
（３）総括コーディネーターとして、各相談に対応し、アドバイスをおこなった。

令和5年度　融合型部活動参加状況

	チーム・種目名	活動日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
神林・岩船	Hangout	平日	67	51	157	145	93	119	145	113	121	132			1143
		休日	94	76	88	102	107	64	105	81	103	93			913
	KATC	平日	74	125	138	112	52	64	100	46	70	60			841
		休日	33	31	33	56	15	35	27	19	24	32			305
	NEXUS	平日	51	36	33	53	58	62	34	27	44	35			433
		休日	16	16	14	15	8	23	19	25	18	29			183
	神林TTC	休日	29	22	14	46	10	23	21	18	19	29			231
	MaAC(試行)	休日				39						57			96
	合 計		364	357	477	568	343	390	451	329	399	467	0	0	4145
村上	エイムハイ村上	休日	22	103	106	54									285
	村上市柔道教室	休日	11	24	9	23									67
	合 計		33	127	115	77	0	0	0	0	0	0	0	0	352
朝日	男子バスケ部	平日	43	58	114	49	80	77	161	143	121	153			999
		休日	32	79	44	49	117	69	97	109	65	63			724
	女子バレー部	平日	8	49	60	0	32	12	16	28	27	34			266
		休日	24	32	16	8	16	12	30	16	12	12			178
	卓球	休日			37										37
	合 計		107	218	234	106	245	170	304	296	225	262	0	0	2167
荒川	卓球	平日	104	183	293	105									685
		休日	27	46	62	89									224
	バレーボール	平日			24	15									39
		休日				23									23
															0
	合 計		131	229	379	232	0	0	0	0	0	0	0	0	971
山北	卓球	平日		140	47	112									299
		休日		43	10	12									65
	合 計		0	183	57	124	0	0	0	0	0	0	0	0	364
															0

特に工夫した事項

（１）運営団体と実施主体の関係、役割分担などを明確にするため、専門部会等で定期的に会議を開催した。
（２）当事者意識の醸成が必要で、会議の際、説明を行った。

今後の課題と対応方針

実地主体について、地区によっては「単なる指導者」と考えるところもあり、今後、会議等を通して実施主体の役割の理解促進に努めていきます。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項

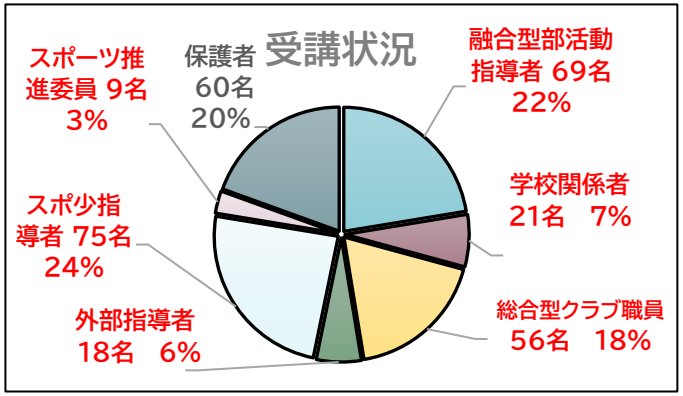
（１）指導者育成プログラム研修会の開催
・公認資格の有無、教員免許の有無に関係なく、「融合型部活動」に関わる指導者等は運営団体であるNPO法人希楽々主催（市教育委員会共催）の【指導者育成プログラム研修会】の受講を義務化。運営団体で受講票を発行。
・毎年年６回開催（初級、中級、ブロンズ、シルバー、ゴールドから６科目について）
（２）スポーツ少年団と融合型部活動の同時開催

【開催日時及び内容】

回	開催日	曜日	時間	資格	科目名	内容
1	5/16	火	19：00～20：30	コーチ２中級編	コーチングⅠ	スポーツ指導者の心構え
2	5/23			シルバー認定指導者	スポーツ医学Ⅱ	スポーツ活動中に多い怪我と予防
3	5/30			コーチ２中級編	スポーツ教育指導法Ⅱ	指導計画・内容・評価の立て方
4	6/6			シルバー認定指導者	コーチングⅢ	指導力量（声がけ、観察、態度、形態などの模擬指導）
5	6/13				スポーツ心理学Ⅱ	カウンセリング
6	6/20				スポーツと栄養	スポーツと栄養

取組の成果

（１）指導者育成プログラム研修会について
・延参加者数は308名
・融合型部活動指導者、教員、総合型クラブ職員、スポ少指導者、外部指導者、スポーツ推進委員、保護者が受講した。
（２）スポーツ少年団と融合型部活動の同時開催
・２種目（バスケットボール、ソフトテニス）について、スポ少と融合型部活動の同時開催日を設け、指導体制を整備し、多様なニースに対応することができた。



特に工夫した事項

（１）指導者育成プログラム研修会について、多様な立場の方にたくさん受講してもらえるよう、各地区の運営団体から受講啓発を行った。また保護者等の見守り隊として関わる方の案内も行った
（２）スポ少と融合型部活動の同時開催をすることで、小学生と中学生の空間をつくり、各ニーズに対応する指導者を配置し、活動を行った。

今後の課題と対応方針

（１）令和元年度から新潟医療福祉大学を連携し、指導者の質の向上を目的として「指導者育成プログラム研修会」を開催してきた。市同時のライセンス制度を目指し、実施してきた。これを最終的にＪＳＰＯ公認資格に結ぶことができればと考えていたが実現できることとなった。
（２）地域移行をきっかけに、スポ少と総合型クラブの組織統合を図り、小中学生のスポーツ環境の整備を進めている。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

運営主体と実施主体の連携強化
（１）バスケットボール【Hangout】専門部会の開催
多様な指導者が関わることで起こるコンフリクトについて、指導方針等の話し合いや指導者間のポジショニングなどを定期的に会議を開催
（２）陸上種目の融合型化に向けた定期的な意見交換会の開催、合同練習会を実施

取組の成果

（１）バスケットボール【Hangout】専門部会
・チーム理念、基本方針、目標、指導方針、練習方針、選手起用方針、選手の怪我等に対する対応など指導者間で再確認と共有を図った。
・子どもたちのニーズの多様化を考慮し、「チャレンジクラス」「ベーシッククラス」を設け活動することとした。
（２）陸上意見交換会
新年度から「融合型部活動」として活動することとなり、合意形成を図った。



特に工夫した事項

（１）指導者間マネジメント
スポ少指導者、兼職兼業の教員、地域指導者など多様な指導者が関わることで起こるコンフリクトについて、地域指導者がキーパーソンとなり、マネジメントを行った。各指導者のポジショニングを明確にし、クリニック等を開催した。
（２）陸上実施主体の当事者意識の啓発
新年度から陸上の融合型部活動を始動するにあたり、合同練習会を２回開催した。
が、運営団体に依存している傾向があり、複数の会議を開催し、当事者であることを理解していただくことができた。



今後の課題と対応方針

先行しているバスケットボール【Hangout】については、色々な課題に直面するが、１つ１つ解決しながら、みんな当事者意識を持って取り組んでいく。
また陸上の融合型部活動（村上アドバンスアスレチッククラブMaAC）については、これから動き出すのではなく、動きながら体制を整備していく。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

取組事項

拠点化・自走化の意識啓発

村上市では現在、旧市町村単位で、各総合型クラブが運営主体となり、「融合型部活動」を取り組んでいる。

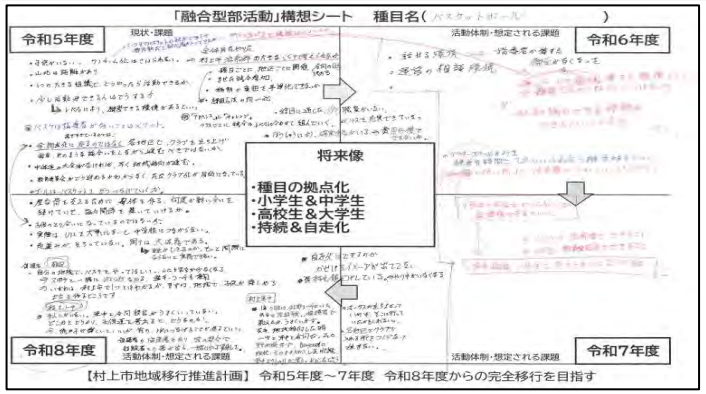
しかし、今後、少子化により地区単位、学校単位での取組が困難になることが推測される。また国や県の財政的支援がこのまま継続するものではないと考えられる。そのために拠点化・自走化に向けて「種目別ワークショップ」を開催した。

取組の成果

（１）運営主体の各地区総合型クラブのサブコーディネーターに「拠点化・自走化」について、コーディネーター会議で意識啓発を行った。

（２）各地区で「融合型部活動」として活動している各種目に指導者を対象に合同会議を開催し、説明後、「種目別ワークショップ」を開催し、「拠点化・自走化」に向けた年次計画にについて意見交換を行った。

合同会議及び種目別ワークショップには、融合型指導者、学校関係者、スポ少指導者、外部指導者、保護者、行政など６５名が参加した。



特に工夫した事項

（１）「拠点化・自走化」に向けて、種目別に開催することで、「この種目をどうしていくか」という前向きな意見交換ができるよう、ワークショップの内容を工夫した。

（２）すでに複数校で活動している融合型部活動もあり、当該校については運営団体からアプローチし、【地域移行に向けた学校の方針】を策定してもらった。

今後、単一校から複数校になることが想定され、学校の方針を策定していない学校については、市教育委員会から策定するよう依頼済み。

神林中学校の方針作成（R4）

❶令和６年度からは休日の部活動は実施しない
❷令和７年度には平日も移行でいるように進める
❸既に活動している融合型部活動は
・令和５年度から大会参加も含む、休日は完全移行
・卓球→３学期に試行検証
　令和５年度から休日移行
・バレーボール
→３学期に２校で合同練習の機会をつくる
　令和５年度に複数校の合同練習の機会をつくる
　令和６年度から休日は完全移行

今後の課題と対応方針

「地域移行」と言うワードが、学校部活動をコピーするイメージを持つ人が多い。そのために学校枠での活動、地域枠での活動に固執する指導者が多い。さらに旧市町村単位での囲い込みが見られ、「拠点化」については少し時間をかける必要がある。ただし、継続を考えた時に、少子化を考慮すると、「市ワンチーム化」を図る必要があり、それで自走することができる。再度、説明会やワークショップを開催し、理解促進を図る。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

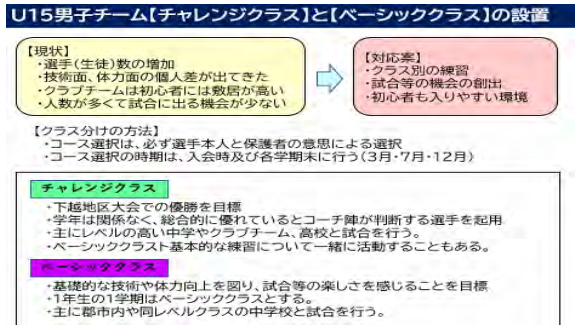
▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項

（１）ニースに対応したクラス分け【多目的化】
（２）小中高という多世代空間【多世代化】
（３）多様なスポーツ【多種目】
（４）体験会の開催

取組の成果

（１）【Hangout】は大会に参加したい子、したくない子など競技志向、楽しみ志向に対応する「チャレンジクラス」「ベーシッククラス」を設け、対応する多目的化を図ることとした
（２）ソフトテニス、陸上については小・中学生を対象とした活動を行うこととした
特に陸上については試行検証で小・中・高校生を対象に合同練習会を開催
（３）運動の嫌いな子、部活動に所属していない子、色々な種目をやりたい子を増やすため「多様なスポーツ体験会」を開催



特に工夫した事項

（１）陸上の試行検証「オフシーズンの合同陸上練習会」は小学生年生5，6生中学生、そして地元の高校２校の生徒にも参加してもらい、高校生の模範を見ながら小・中学生を動く、小学生のサポートを中・高校生が行うなど多世代で活動する場を創った

（２）ソフトテニスはスポ少の参加者が減少していることから、学童保育所（運営団体が指定管理する）の楽しい運動の時間にソフトテニスの体験会を開催し、参加促進を図った。



今後の課題と対応方針

融合型部活動の各種目の指導者が当事者意識を持って、多様な取組を行っている。
単に、その種目を指導するだけではなく、「どうしたらたくさんの子どもたちに楽しんで参加してもらえるか」を考えることで、学校部活動よりさらにスポーツを楽しむ子供たちが増えることを目指す。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ク：その他の取組

取組事項

（１）部活動紹介
４月開催する生徒会主催「部活動紹介」で【融合型部活動】も紹介。生徒が真剣に新入生にアピールする姿が印象的だった
（２）校内合同部活動の実施
・令和２年度から当法人で実施。冬期間の部活動時間の時短時に校内の全部活動を対象に「校内部活動」を開催
・当法人職員が指導。吹奏楽部も参加。週１回毎週火曜日開催
・大学や理学療法士協会や病院と連携し、「ケガをしないストレッチ」や「応急処置RICE法」も実施した。

取組の成果

（１）融合型部活動に参加する生徒が、一生懸命、活動の良さを紹介する姿が見られた。
（２）多様な部活動を合同で開催することで、共通の動きや単一種目では体験できないことなどを実施する機会となった。
また大学との連携を図ることができ、専門的な指導を受けることができた。

R5神林中学校　校内合同部活動

16：10～17：00

回数	日にち	曜日	備考
1回目	11月28日	（火）	
2回目	12月5日	（火）	
3回目	12月12日	（火）	
4回目	1月16日	（火）	
5回目	1月23日	（火）	リハ大　応急処置法
6回目	1月30日	（火）	
7回目	2月13日	（火）	
8回目	2月20日	（火）	
9回目	2月27日	（火）	
10回目	3月12日	（火）	
11回目	3月19日	（火）	

特に工夫した事項

部活動紹介も校内合同部活動も学校と常に連携しているからこそ、実現できること。
学校が関与する地域の活動「融合型部活動」を学校にも理解していただいている。
地元の新潟リハビリテーション大学とも連携ができていることから、校内合同部活動にも協力していただいている。
学校との信頼関係の構築にもなっている。

今後の課題と対応方針

現在は学校部活動もあり、融合型部活動もある状況で部活動紹介や校内行動部活動が実施されているが、学校とは、今後、学校部活動がなくなっても、当校の生徒に色々な機会を提供してほしいということで、校内合同部活動（名前は変わりますが」や部活動紹介（これも名前が変わりますが）も継続してほしいという話はすでにいただいています。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）



【バスケットボール「Hangout」募集チラシ】

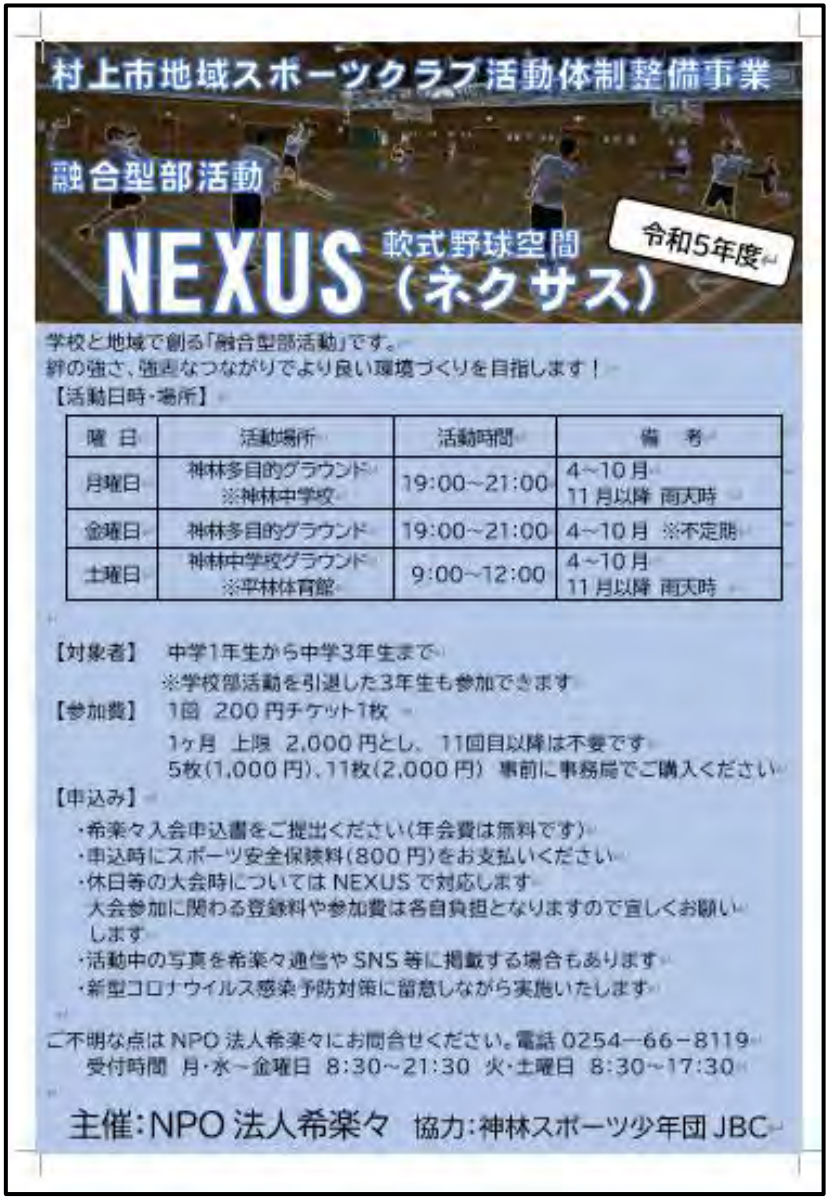


【ソフトテニス「KSTC」募集チラシ】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）



村上市地域スポーツクラブ活動体制整備事業

融合型部活動

NEXUS 軟式野球空間（ネクサス）

令和5年度

学校と地域で創る「融合型部活動」です。
絆の強さ、強固なつながりでより良い環境づくりを目指します！

【活動日時・場所】

曜 日	活動場所	活動時間	備 考
月曜日	神林多目的グラウンド ※神林中学校	19:00~21:00	4~10月 11月以降 雨天時
金曜日	神林多目的グラウンド	19:00~21:00	4~10月 ※不定期
土曜日	神林中学校グラウンド ※平林体育館	9:00~12:00	4~10月 11月以降 雨天時

【対象者】 中学1年生から中学3年生まで
※学校部活動を引退した3年生も参加できます

【参加費】 1回 200円チケット1枚
1ヶ月 上限 2,000円とし、11回目以降は不要です
5枚(1,000円)、11枚(2,000円) 事前に事務局でご購入ください

【申込み】
・希楽々入会申込書をご提出ください(年会費は無料です)
・申込時にスポーツ安全保険料(800円)をお支払いください
・休日等の大会時については NEXUS で対応します
大会参加に関わる登録料や参加費は各自負担となりますので宜しくお願いします
・活動中の写真を希楽々通信やSNS等に掲載する場合もあります
・新型コロナウイルス感染予防対策に留意しながら実施いたします

ご不明な点は NPO 法人希楽々にお問合せください。電話 0254−66−8119
受付時間 月・水~金曜日 8:30~21:30 火・土曜日 8:30~17:30

主催:NPO 法人希楽々 協力:神林スポーツ少年団 JBC

【軟式野球「NEXUS」募集チラシ】



村上市部活動地域移行推進事業

融合型部活動

中学生卓球クラブ

～神林 TTC～

募集

【融合型部活動とは】
部活動の段階的な地域移行に伴い、
行政、学校、地域が協力し合い行う活動です。

★大会参加について
令和5年度は中学校体育連盟の大会は“中学校名”で参加します。
その他、オープン戦に関しては、クラブチーム名で参加します。

★神林スポ少との合同練習
月に1回程度、神林スポ少卓球との合同練習を行います。

★希楽々が運営主体
中学校や教育委員会との連携をしながら継続的で安心安全な活動を行います。

土曜日 8:30~11:30 @神林中学校
※その他大会や練習試合などあり

対 象 中学1~3年生 男女
活動費 1回 200円チケット 1枚 毎回練習時に指導者へお渡しください。
(5枚 1,000円 11枚 2,000円 希楽々事務所にて事前にお買い求めください。)
申 込 入会申込書にご記入の上、希楽々事務局へお申込みください。(年会費無料)
問合せ NPO法人希楽々(神林総合体育館内)
TEL:0254-66-8119 営業時間 月-水~金 8:30~21:30 火-土 8:30~17:30
その他詳細は、裏面をご覧ください。

【卓球「神林TTC」募集チラシ】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備委託

第１回コーディネーター会議

令和５年５月11日（木）
13時30分～
村上体育館ミーティングルーム

1　開　会

2　事業概要について
村上市立中学校の部活動地域移行推進計画について
実施体制イメージ図

3　事業計画及びスケジュールについて
全体
地区

4　予算について

5　その他

令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備委託
コーディネーター名簿

No.	氏　名	役　職	所　属	地　域
1	渡邊　優子	総括コーディネーター	NPO法人希楽々	全　体
2	中村小夜子	サブコーディネーター	NPO法人 ウェルネスむらかみ	村　上
3	須貝　成子	サブコーディネーター	NPO法人 サンスマイルあらかわ	荒　川
4	遠山　恵美	サブコーディネーター	NPO法人 愛ランドあさひ	朝　日
5	本間　鉄雄	サブコーディネーター	NPO法人 さんぼくスポーツ協会	山　北
6	島田　英宏	サブコーディネーター	NPO法人希楽々	神　林

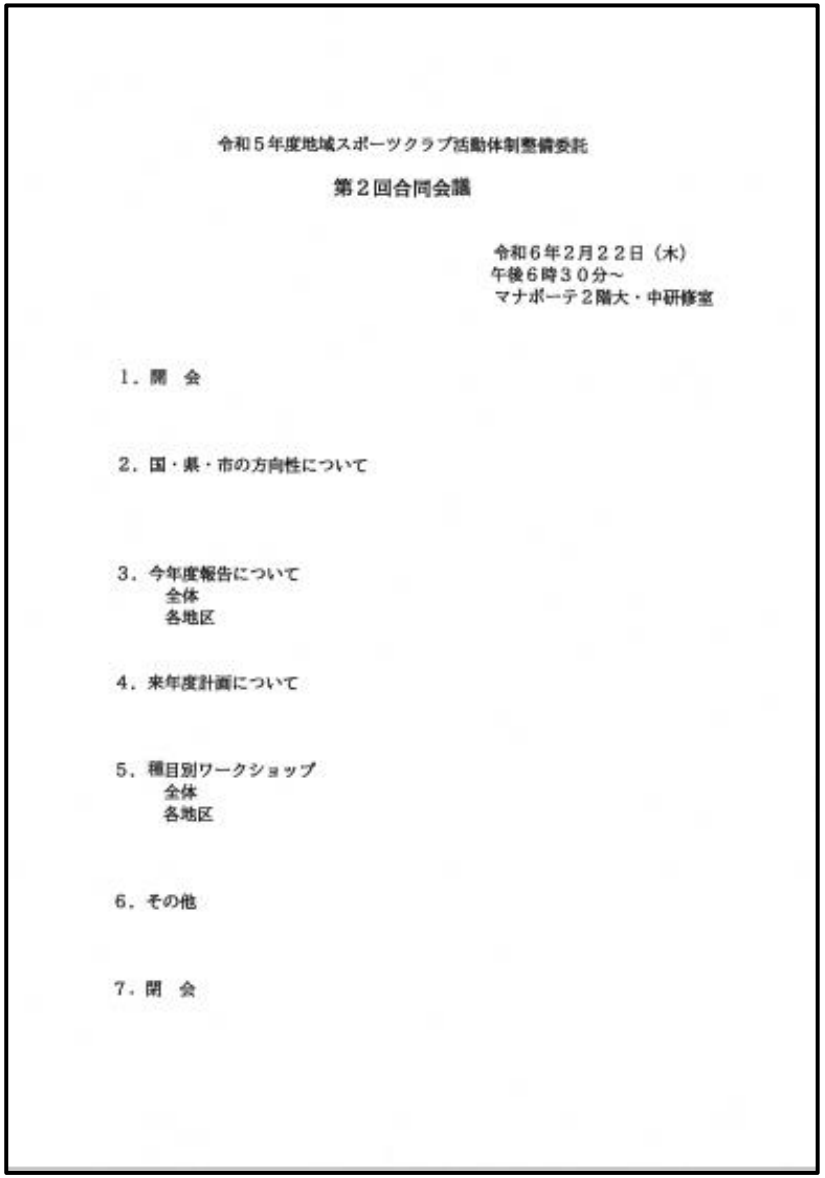
No.	氏　名	所　属	役　職
1	今井　雅仁	村上市教育委員会学校教育課	参　事
2	木村　　博	村上市教育委員会学校教育課	指導主事
3	倉松　淳志	村上市教育委員会生涯学習課 スポーツ推進室	室　長
4	渡邊　正樹	村上市教育委員会生涯学習課 スポーツ推進室	主　査
5	浅野　　宏	村上市教育事務所	所　長
6	百武　靖之	荒川教育事務所	所　長
7	田村　富夫	神林教育事務所	所　長
8	本間　　宏	山北教育事務所	所　長

【コーディネーター会議会議資料】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）



令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備委託

第２回合同会議

令和６年２月２２日（木）
午後６時３０分～
マナポーテ２階大・中研修室

1．開　会

2．国・県・市の方向性について

3．今年度報告について
　全体
　各地区

4．来年度計画について

5．種目別ワークショップ
　全体
　各地区

6．その他

7．閉　会

地区	融合型名	始動年度	参加（登録）者数	参加学校名	活動日・時間	場　所	参加費	指導者数	中体連大会
神林中・岩船中	バスケットボール【Hangout】	R1	29名	神林・村上東 岩船 ※関・猿橋	月曜日19:00～ 水曜日19:00～ 土曜日13:00～	神林総合体育館 神林中学校	3,000円/月 500円/回	9名 ※兼職兼業2名含	参加
	ソフトテニス【KSTC】	R2	16名	神林 岩船	月曜日19:00～ 火曜日16:30～ 木曜日19:00～ 土曜日13:00～	神林総合体育館 岩船中学校 平林体育館 神林中学校　他	2,000円/月 200円/回	7名 ※兼職兼業2名含	参加
	軟式野球【NEXUS】	R3	22名	神林 村上東	月曜日19:00～ 金曜日19:00～ 土曜日 8:30～	神林中学校グラウンド 神林中学校 多目的グラウンド 平林体育館	2,000円/月 200円/回	4名 ※兼職兼業1名含	参加
	卓球【神林TTC】	R5	14名	神林	土曜日 8:30～	多目的グラウンド	200円/回	4名※兼職兼業1名含	
村上第一中・東中	ソフトテニス【エイムハイ村上】	R4	26名	村上第一 村上東	土曜日9:00～ ※雨天時17:00～	村上東中学校 テニスコート ※村上体育館	500円/月 6,000円/年	6名	参加
	柔道【村上市柔道教室】	R5	14名	村上第一 村上東	土曜日９:00～	村上東中学校	500円/月 6,000円/年	5名	
朝日中	男子 バスケットボール	R５	20名	朝日	月曜日16:00～ 火曜日16:00～ 木曜日19:00～ 金曜日16:00～ 土曜日 8:30～	朝日総合体育館 朝日中学校	100円/木曜	4名	
	女子 バレーボール	R５	4名	朝日	月曜日16:00～ 火曜日19:00～ 金曜日16:00～ 土曜日 8:30～	朝日総合体育館 朝日中学校	調整中	3名 ※クラブ職員2名含	
荒川中	卓球	R5	17名	荒川	火曜日16:00～ 木曜日16:00～ 金曜日16:00～ 土曜日 9:00～	荒川総合体育館	2,000円/月	2名 ※クラブ職員	
	バレーボール	R5	8名	荒川	木曜日16:00～ 土曜日 9:00～	荒川総合体育館	1,000円/月	2名 ※クラブ職員	
山北中	卓球	R5	11名	山北	月曜日19:00～ 火曜日16:15～ 木曜日19:00～ 土曜日 9:00～	山北総合体育館 山北中学校	1,000円/月	6名	

【第２回合同会議資料】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

村上市地域スポーツクラブ活動体制整備事業

夕暮れ時の合同陸上練習会

東京パラリンピック 銅メダリスト 永田務選手も指導！

村上市では、学校部活動の地域移行に向けて「融合型部活動」を推進しています。
各地区で「融合型部活動」の取組が行われています。
地域移行を見据え、陸上競技について「合同練習会」を開催します。
学校部活動の陸上部の生徒はもちろん、他の競技の部活動に所属している生徒もまた部活動に所属していない生徒も誰でも参加できます。
楽しく走り、楽しく跳ぶ、そんな練習会に参加してみませんか？

開催日時　令和5年7月22日(土)　午後5時から6時30分
開催場所　神林総合運動公園　多目的グラウンド　※雨天時　神林総合体育館
対 象 者　村上市内中学生ならどなたでも
参 加 費　1人　100円(保険代)
　※ただし、村上第一、荒川中学校陸上部所属の生徒は無料
内　　容　SAQトレーニング(スキップ・ラダートレーニング)
　種目別練習
申　　込　参加希望の方は下記申込書に記入の上、7月18日(火)まで
　下記のどちらかでお申込み下さい
　❶NPO法人希楽々(神林総合体育館)へ参加費を添えて申し込む
　❷下記申込書をNPO法人希楽々へFAXする(66－8112)
　　参加費は当日お支払いください
　※ただし、村上第一、荒川中学校陸上部は学校単位で任意の書式で
　　お申込みください。その際、希望種目もご記入ください。
お問合せ　NPO法人希楽々(電話66－8119)まで

夕暮れ時の合同陸上練習会参加申込書

氏名		学校名・学年	中学校　年
年齢		連絡先	
住所			

主催：NPO法人希楽々　共催：村上市陸上競技協会

【陸上試行検証「夕暮れ時の合同陸上練習会」】

村上市地域スポーツクラブ活動体制整備事業

オフシーズンの合同陸上練習会

村上市では、学校部活動の地域移行に向けて「融合型部活動」を推進しています。
各地区で「融合型部活動」の取組が行われています。
来年度に向け、冬季トレーニングの一環として、陸上競技第2弾「合同練習会」を開催します。学校部活動の陸上部の生徒はもちろん、中学生どなたでも、また小学5、6年生もどなたでも参加できます。高校生も一緒に行います。
令和6年度4月から融合型部活動として土曜日の活動を始動します。

開 催 日　1回目　令和6年1月27日(土)
　2回目　令和6年2月24日(土)
開催時間　午後4時30分から6時00分まで
開催場所　神林総合体育館　アリーナ
対 象 者　小学5、6年生、中学生、高校生(村上高校、村上桜ケ丘高校)
参 加 費　1人　1回　100円(保険代)
　※ただし、部活動陸上部所属の生徒は無料
内　　容　心肺機能向上と筋力アップなどを目的とした【サーキットトレーニング】
　身体の動き、スピードを高める【SAQトレーニング】
　身体幹部の筋肉に負荷をかける【体幹トレーニング】
申　　込　参加希望の方は下記申込書に記入の上、1月22日(月)まで下記の
　どちらかでお申込み下さい
　❶NPO法人希楽々(神林総合体育館)へ参加費を添えて申し込む
　❷下記申込書をNPO法人希楽々へFAXする(66－8112)
　　参加費は当日お支払いください
　※ただし、部活動陸上部は学校単位で任意の書式でお申込みください。
お問合せ　NPO法人希楽々(電話66－8119)まで

オフシーズンの合同陸上練習会参加申込書

氏名		学校名・学年	学校　年
年齢		連絡先	
住所		希望	1回目 ・ 2回目

主催：NPO法人希楽々　共催：村上市陸上競技協会

【陸上試行検証「オフシーズンの合同陸上練習会」】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）



7.22「合同陸上練習会」参加者の感想

・今まで知らなかったことが聞けてよかった。もっとテンポよくしてほしい。
・他の学校とコミュニケーションが取れてよかった。
・中学校で初めての合同練習だったし，他のチームと一緒にされてよかった。説明がわかりやすく教えてくれた。
・荒川中だけでないから緊張感があったのと，ラダーやトラックが 400 メートルでいつもと違う練習ができた。キツかった。実力にバラつきがあってそれに合わせた練習ができた。
・いつもやらない練習や人とでき，きついところもあったけど楽しかった。
　今，自分がどのくらい出来るのか，知れてよかった。
・短距離は基礎的なことが多めで小学生から陸上をやっている僕にはつまらなかった。
　今度からはきついことをいっぱいして疲れたい汗をかきたい。
・初めての場所，練習だったけど上手くかけてよかったです。体操があまりわからなかったけどできてよかった。次もあると思うけどその時も頑張りたい。
・自分の知らない技術を知れて良かったです。
・合同練習会では，しっかりとアップの時，みんなと動きを揃えて頑張ることができました。そして竜丸の合同練習では自分１人だけだったけど教える人がすごく優しくわかりやすかったです。竜丸は下半身をしっかり使うとわかったのでちゃんと鍛えたいし，頑張りたいです。すごく楽しかったので次回またある時行きたいです。
・短距離の種目練習の時に，股関節だけを横に動かしながらまっすぐ足を上げるということを学んでよかったと感じました。
・一中など他の中学生と走ってみて，早い人がいて学ぶところがありました。フォーム，呼吸の仕方などがありました。要望はありません。
・合同練習で知らない方がたくさんいましたが，皆さん優しく接していただき，丁寧に教えていただきました。自分は走り幅跳びのところで練習をしたのですが，コツや意識することをたくさん教えていただき，仲間からの声援もあったのでかなり跳ぶことができました。たくさんのことを教えて下さってすごくいい機会となりました。楽しかったです。
・合同練習で走り抜けて跳ぶことを意識して練習をしました。よかった所はリズムを刻んで助走することができたことです。他の中学校と練習して普段と違うアップの仕方を知ることができました。
・コーチなどがしっかりしたアドバイスをして，それを意識して走った。
・他校の人たちとやって，いつもと違う練習ができた。
・練習時間が短かった。
・いつもと違うメンバーで，いい緊張感で参加できました。
・たくさんの人たちと練習ができて良かったと思います。定期的に練習ができるといい。
・他の学校の子とのレベルを知ることができてよかったです。
・時間帯も暑すぎずちょうど良く，いつもと違う練習で楽しかった。
・とてもきつかったけど，同じ中学生たちと皆で走れて楽しかったです。

【合同陸上練習会の参加者の声】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

村上市地域スポーツクラブ活動体制整備事業

指導者育成プログラム研修会のご案内

村上市では、「中学校の部活動地域移行推進計画」を策定し、令和５年度から令和７年度の３年間を移行期間とし、令和８年度から休日の活動の完全移行、平日の活動も同時期移行を目指すこととしました。このように地域移行が加速していく中、指導者のさらなる資質向上が求められます。今年度も、村上市で推奨する「総合型部活動」の指導に関わる方を対象に下記の日程で研修会を開催いたします。融合型部活動指導者を始め、試行検証に関わる方、兼職兼業で指導に関わる先生方、また見守り隊として関わる保護者の方、今後指導することが想定されるスポ少指導者、体協関係者など、この機会にご受講いただきますようご案内いたします。尚、この研修会は村上市として融合型部活動に関わる方には受講することを義務付けております。

【開催日時及び内容】

回	開催日	曜日	時間	資格	科目名	内容
1	5/16	火	19：00～20：30	コーチ２中級編	コーチングⅠ	スポーツ指導者の心構え
2	5/23			シルバー認定指導者	スポーツ医学Ⅱ	スポーツ活動中に多い怪我と予防
3	5/30			コーチ２中級編	スポーツ教育指導法Ⅱ	指導計画・内容・評価の立て方
4	6/6			シルバー認定指導者	コーチングⅡ	指導力量（声がけ、観察、態度、形態などの模擬指導）
5	6/13				スポーツ心理学Ⅱ	カウンセリング
6	6/20				スポーツと栄養	スポーツと栄養

【会　場】　村上市生涯学習推進センター（マナボーテ）大・中会議室
【主　催】　ＮＰＯ法人希楽々
【共　催】　村上市教育委員会
【講　師】　新潟医療福祉大学教授、日本スポーツ協会コーチディベロッパー　西原康行氏
新潟医療福祉大学　高田大輔氏　山崎史恵氏　松浦由生子氏　佐藤晶子氏
【対象者】　融合型部活動指導者、スポ少指導者、体協会員、総合型クラブ職員、教員　他
【参加費】　無料
【申込み】　下記申込書に必要事項をご記入の上、４月２８日（金）までＮＰＯ法人希楽々までお申込みください。FAX　０２５４－６６－８１１２
【その他】　受講登録票をお持ちの方は受講時、ご持参下さい。

令和５年度指導者育成プログラム研修会申込書

氏　名		生年月日（年齢）	年　月　日（　歳）	
住　所		連絡先		
所　属（　）に名称	融合型部活動指導者（　）	学校関係者（　）	総合型クラブ（　）	外部指導者（　）
	スポ少指導者指導者（　）	体協会員（　）	その他（　）	
希望受講日 希望日に○	第１回　５月１６日	第２回　５月２３日	第３回　５月３０日	
	第４回　６月　６日	第５回　６月１３日	第６回　６月２０日	

【お問合せ】　ＮＰＯ法人希楽々（神林総合体育館）　電話　０２５４－６６－８１１９

【指導者育成プログラム研修会案内】

第1回　指導者育成プログラム研修会

開催概要

開催日時	令和5年5月16日(火)　午後7時から8時30分
開催場所	村上市生涯学習センター(マナボーテ)　大･中会議室
講　　師	新潟医療福祉大学　JSPOコーチディベロッパー　西原康行　氏
科　　目	コーチ2中級編　コーチングⅡ

受講状況

融合型指導者	学校関係者	総合型クラブ	外部指導者	スポ少指導者	スポ推	保護者	合　計
12	3	11	3	14	1	12	56

講義内容

内　　容	スポーツ指導者の心構え

私の文脈とグループの仲間の文脈、あなたがスポーツ指導者に興味を抱いた理由

あなたが指導を行っていて「うれしく」思ったこと、あなたがプレーヤーに導きたい結果

あなたのコーチ哲学、コーチングに関わる人や組織のマッピング、コンフリクトから考える



2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

No.	資 格	科目名	形態	内 容
1	コーチ1(初級編)	地域スポーツ論	講義	地域スポーツ指導者の役割
2		スポーツ教育指導法Ⅰ	講義	スポーツの種目特性
3	コーチ2(中級編)	コーチングⅠ	講義・演習	スポーツ指導者の心構え
4		スポーツ教育指導法Ⅱ	演習	指導計画・内容・評価の立て方
5	ブロンズ（認定指導者）	コーチングⅡ	講義・演習	プレーヤーとの望ましい関係性
6		スポーツ心理学Ⅰ	講義	スポーツにおける動機づけ
7		スポーツ医学Ⅰ	講義	体の仕組みと動き
8		体力トレーニング論Ⅰ	講義	体力とは
9	シルバー（認定指導者）	コーチングⅢ	講義・演習	指導力量(声がけ、観察、態度、形態などの模擬指導)
10		スポーツ心理学Ⅱ	講義・演習	カウンセリング
11		スポーツ医学Ⅱ	講義	スポーツ活動中に多い怪我と予防
12		スポーツと栄養	講義	スポーツと栄養
13		体力トレーニング論Ⅱ	講義・演習	トレーニングの種類と進め方・コンディショニング
14	ゴールド（認定指導者）	コーチングⅣ	講義・演習	コーチング環境・対他者等
15		スポーツ心理学Ⅲ	講義・演習	メンタルトレーニング
16		対象に合わせた指導	講義	発育発達に合わせた指導、中高年・女性とスポーツ
17		運動学	講義・演習	運動スキルの獲得方法
18		スポーツと法	講義	スポーツ事故における指導者の法的責任

【指導者育成プログラム研修会】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【バスケットボールHangout】



【ソフトテニスKSTC】



【軟式野球NEXUS】



【卓球神林TTC】

2．実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【陸上試行検証「夕暮れ時の合同練習会」】



【陸上試行検証「オフシーズンの合同練習会」】



【校内合同部活動】



【多様なスポーツ体験会】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（活動写真）







【指導者育成プログラム研修会】



【コーチング研修会】

2．実証内容と成果

参考資料（活動写真）





【コーディネーター会議】



【合同会議】



【神林中・岩船中融合型部活動運営協議会】

2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

平成25年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和４年
新しいカタチの部活動 実践	融合型部活動構想	学校と地域の融合型 検討会議 の設置	神林中学校区 融合型部活動 運営協議会の設置 融合型部活動 第１号誕生	全市での融合型部活 動の啓発	市内融合型部活動の 取組み 村上市

【新しいカタチの部活動の実働】
・部活動にない種目の取組
・JGBC（女子バスケットボール）
・学校、保護者、希楽々で話し合い
・今後の部活動の在り方を考える
・財源がないため、僅かな受益者負担と希楽々の負担で運営
・所有のバスで学校まで迎えに行き総合体育館で活動
・週４日、市内３校１７名で活動
・学校部活動ではないこと➡子どもたちが希楽々のイベント等にボランティア参加し、多世代交流の中から社会性やマナー学ぶことができた。
・この形が今後の目指すものだと確信した。
・国の方針がまだ確定していない中「子どもが困っていること」を何とかしたいと思い、取り組んだ。

【融合型運営協議会の設置】
・コーディネーターを配置し、会議体で検討。
・学校、地域、保護者、行政で構成
・校長、教頭、部活動主任、PTA３役、保護者会長、希楽々、スポ少指導者、体協会員、外部指導者
・行政は学校教育課、生涯学習課
年３回開催
・学校部活動、融合型部活動について、また実態調査や意向調査、指導者についてなど会議で話し合った。
・種目別ワークショップを開催し、種目ごとに違う立場で話し合いを行い、１月後に融合型第１号【Hangout】が誕生した。

【融合型部活動の取組】
・令和3年度にはバスケットボール ソフトテニス、軟式野球が実働
・バスケットボール、軟式野球は休日の地域移行を実践
・市独自の指導者ライセンス制度の検討
・指導者の資質向上を目指し「指導者育成プログラム研修会」の開催
・多様なスポーツの啓発としてチラシを作成し、配布。また多様なスポーツ体験会の開催
・全市での融合型部活動の啓発に取組み、校長会や総合教育会議で説明を行う
・校内合同部活動の実施
予算がないため、自主財源で行う。

【推進体制の提案】
・令和3年度に、希楽々から市教委に推進体制の提案
・総括コーディネーター、サブコーディ ネーターの配置
・総括運営主体、運営主体
・令和４年度から各地区で会議体を設置し、「融合型部活動」の試行検証に取り組んだ。
・令和４年度「村上市中学校の部活動推進計画」策定
・Ｒ５からR7まで休日及び可能な平日の地域移行にも取り組む。
・運営団体は総合型クラブとする。
・融合型部活動に関わり指導者は「指導者育成プログラム研修会」の受講の義務化等を盛り込んだ。
・先行している中学校２校には「学校の方針」も策定してもらった。先行することで直面する課題に対応するため策定を依頼した。

3．今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

令和５年１月

村上市立中学校の部活動地域移行推進計画【概要】

村上市教育委員会

○少子化が進む中、中学校の部活動の維持が困難になりつつある。学校によって部活動の選択肢が限られ、**生徒の多様なニーズに応じた活動の機会を保障**し、生涯にわたり**スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保**が急務である。その際、生徒の自主的な活動であった**部活動の教育的意義を継承・発展させ、村上市民総がかりで、新しい価値を創出することが大切**である。**対象は村上市在住の中学生（県立含む）**とする。
○「部活動の地域移行に関する検討会議の提言」を踏まえ、令和４年12月に策定された「**学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン**」により、**村上市は、新たな「地域クラブ活動」を整備する**ことにした。
○**村上市「地域クラブ活動」**は、村上市教育委員会が関与し、村上市内の**NPO法人等が運営主体となる。運営主体の傘下に入って、管理・監督（ガバナンス・コード）を受けて連携した団体**が、指導者を確保し、国や県、村上市の支援を受け、**受益者負担の原則（負担の軽減を最大限行う）**の下に活動をする。**文化部については、当面の間、村上市教育委員会による直轄方式をとり、段階的な移行を目指す。**
○**令和５年度から令和７年度までの３年間を移行期間**とする。**令和８年度初から休日の活動は完全に移行**し、平日の活動も同時期の移行を目指す。**令和５年２月に希望する団体、希望する指導者の募集、各学校での生徒及び保護者への説明**をする。**３月から希望する教師の兼職兼業手続き**も行う。
○令和５年以降、毎年の４月の各中学校の部活動説明会とＰＴＡ総会で、村上市「地域クラブ活動」となる団体について説明し、活動への参加生徒を募集する。**移行期間は学校部活動と「地域クラブ活動」が同時に活動することになる。混乱を避けるため「融合型部活動」**を行う。

Ⅰ　村上市「地域クラブ活動」

＜スポーツ＞

村上市教育委員会

総括運営主体（総括コーディネーター）

運営主体：サンスマイル／希楽々／ウェルネス／愛ランド／さんぽく協会

各中学校に令和４年度にある部活動は何らかの形で「地域クラブ活動」団体に移行することを目指す。なお、スムーズな移行のために合同での活動を行う。

荒中／神中／一中／朝中／山中

＜吹奏楽＞　※他の文化部を含む

総括運営主体（当面　村上市教育委員会）

運営主体
「文化クラブ（仮称）」
※　休日　市内合同　兼職兼業指導者
※　市内一カ所で活動

各ＰＴＡが、吹奏楽部を中心とする「文化クラブ（仮称）」を立ち上げ、「監視員」を雇用する。

荒中ＰＴＡ／神中ＰＴＡ／岩中ＰＴＡ／一中ＰＴＡ／東中ＰＴＡ／朝中ＰＴＡ／山中ＰＴＡ

Ⅱ　指導者

総括運営主体は、希望する者の**指導者**としての適性や資格等を審査し、**登録承認**する。**登録は年度毎**とする。また、**「指導者育成プログラム」**を実施し、**公認指導者資格**を取得させる。
村上市内の人材を有効に活用する。**教師が兼職兼業承認を受け地域指導者**となることを妨げない。

Ⅲ　活動場所　移動手段等

村上市「地域クラブ活動」については、原則として**学校施設以外の既存施設を利用**する。ただし、季節や天候によって学校施設を利用する場合もある。
移行期間について、平日の活動場所までの移動は、「クラブバス（仮称）」の運行を検討する。移行後は運営主体と団体で手配・運行する。
休日は保護者送迎を原則とするが、移行期間内の市内での合同の活動や**中体連又は吹奏楽連盟の大会等の場合は休日の通学バスの利用を検討**する。この場合の費用は村上市教育委員会が補助を検討する。
道具や用具は個人負担を原則とする。